

# HOUSING DESIGN CONTEST

COLLABORATION PLAN

## 第1回 2019 住宅設計デザインコンテスト COLLABORATION PLAN



国立大学法人 山形大学  
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12  
TEL:023-628-4006  
<https://www.yamagata-u.ac.jp>

株式会社 菊池技建  
〒990-2481 山形市あかねヶ丘1-11-24  
TEL:023-643-7558  
<https://kikuchigiken.co.jp>

章和ホーム 株式会社  
〒999-2232 南陽市三間通38-1  
TEL:0120-400-133  
<https://www.showa-inc.jp>



HOUSING  
DESIGN  
CONTEST  
COLLABORATION PLAN

山形大学 工学部 建築・デザイン学科 学生による 第1回 2019 住宅設計 デザインコンテスト

# 地元工務店と連携し、山形の気候に適した設計を学ぶ。

山形の気候・風土、生活に適した住宅のあり方を考え、本当に快適な住まいを究める



地域の課題を解決する人材の育成を図り地域の活性化に一役

「住宅設計デザインコンテスト」は、山形大学工学部建築・デザイン学科と株式会社菊池技建(本社／山形市)、章和ホーム株式会社(本社／南陽市)と連携して行われた。同学科は、建築・デザインに関わる教育・研究を通して、世界を見えた幅広い視野を持つ地域固有の文化を理解し、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材の育成を目指しており、コンテストはその一環として実施された。一方、地元工務店では、少子高齢化や若者の県外流出により深刻な人手不足に陥っている。今回のコンテストをきっかけに、学生に住宅設計の魅力を感じてもらうと共に、地元建築業界の業務内容などを知ってもらうことなどで、地域活性化の一助になることを期待した。

## 自由な発想から生まれたユニークな作品が提案される

テーマは「山形に住む」。地域それぞれに特有の自然環境や文化、生活習慣をもつ山形にあって、家族がいつも、いつまでも楽しく暮らし続けることのできる住まいの提案である。それは取りも直さず、家族の地域への定着・定住を図ることに結びつき、過疎化が進む全国の地域に一つの施策を提示することにもつながるといえる。今回のコンテストは初めての試みということもあり、ある程度の法的制限や基準をクリアしていれば、過度に現実的でなくともよいとされ、コンセプトから導き出されたデザイン性・機能性・プレゼンテーション力に審査のポイントがおかれた。作品は36点提出され、2回のプレゼンテーションにおいて担当教員と工務店担当者の指導・審査を受け、最終候補8作品が残った。最終審査では、デザインした学生がみずから模型などを使いながら、コンセプトや特徴を説明。その結果、最優秀賞1点、優秀賞1点、佳作6点が選ばれた。最優秀賞の安部豪人さん(2年)の作品は、夕日に映える棚田をイメージした「TANADA HOUSE」。住宅の床に「棚田」のように段差を設け、それを椅子、机代わりなどに使い家族のコミュニケーションなどに活かすというアイデア。また、車社会の山形を念頭に、1階に車庫を設けたプランなどが評価された。このほかにも、従来の住まいづくりに縛られない発想から生まれたユニークな作品が数多く提案され「専門家」を驚かせていた。

今回のコンテストは、大学としては「実践を通して発想力、提案力を磨いて欲しい」、一方、工務店としては「山形を深く、詳しく知ってもらい、山形を好きになって欲しい」という狙いもあった。そういう観点でも実りの多い企画となった。

住宅設計デザインコンテストスケジュール	
2019年	10月 3日(木) 前半課題説明、資料収集 エスキス1 コンセプトイメージスケッチ(平面図・断面図)
	10月 10日(木) エスキス2 ボリューム模型1/100
	10月 24日(木) 中間提出 一人ずつプレゼンテーションをする
	10月 31日(木) エスキス3 平面図・断面図を1/50で作成する
	11月 7日(木) エスキス4 模型・プレゼンテーションボードの作成 最終提出:学内講評会プレゼンテーション
	11月 14日(木) 後半課題 課題説明
	11月 21日(木) エスキス1 住宅コンペ講評会 (選抜作品についてプレゼンおよび講評会を行う)
	12月 5日(木) エスキス2
	12月 12日(木) 中間提出
	12月 19日(木) エスキス3
2020年	1月 16日(木) エスキス4 1月 23日(木) エスキス5 1月 30日(木) 最終提出・プレゼンテーション

## 住宅設計コンテスト — 設計条件 — テーマ「山形に住む」

下記の大学の設計製図課題で、山形の気候に適した住みやすい戸建て住宅を設計する。

### 目的

- ①「住む」とは何かということを考える。
- ②動線や部屋の配置など、住宅設計の基本について学ぶ。
- ③基本設計製図で学んだ製図・模型制作の技法を応用する。

### 住民のヒアリングによる要望

- ①間取りは4LDKがよい
- ②書斎・和室・収納がほしい
- ③開放感のある空間がほしい

要望の意図を読み取り、独創的な提案を行う。

### 住民設定 ○4人家族

父・母(30代)、子供(5歳)、子供(3歳)

子育て世代の家族について、現在から将来までのライフステージの変化を想像し、山形に住むということを考慮したときにどのような住宅が提案できるか、四人家族の具体的な職業や趣味などライフスタイルを設定してオリジナルのアイデアを具現化する。



### 設計条件

- ①周辺環境や日照・通風を考慮する
- ②構造は自由とするが、計画内容にあわせた構造計画をする
- ③各敷地の建ぺい率・容積率をもとに規模を設定する
- ④地上最高12mまで、地下を設ける場合は1階までとする
- ⑤敷地は下記の2箇所のうちいずれかを選ぶ

①山形市あかねヶ丘  
■用途地域／準住居地域 ■建ぺい率／60% ■容積率／200%

②山形市久保田  
■用途地域／第二種低層住居専用地域 ■建ぺい率／60% ■容積率／150%

## About 山形大学 工学部 建築・デザイン学科

デザインから工学にわたる幅広い知識と技術を兼ね備え、地域の風土に根ざした建築設計・都市計画を追究し、他の工学分野と連携して学際領域で新たな価値を生み出す人材を養成。高等学校の文系コースから一級建築士になれる数少ない国立大学として知られる。

山形大学工学部建築・デザイン学科では、地元工務店と連携して初の住宅設計デザインコンテストを実施した。同コンテストは、地域産業の振興に貢献できる人材の育成を目指す同学科と、深刻な人手不足などが続く中、住宅業界の活性化を図る地元工務店とのコラボレーションで実現したもの。同学科の生徒から、「山形に住む」をテーマに、山形の自然環境や家族の生活スタイルを考えた住まいの図面、スケッチ、模型が提出され、数回のプレゼンテーションと審査を経て、最優秀賞、優秀賞、佳作が選ばれた。

山形大学 工学部 建築・デザイン学科  
教授 永井 康雄さん



## 最優秀賞・優秀賞

■審査会／2019年11月26日(火) ■講評会・表彰式／2019年11月28日(木) ■審査員／◎山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授:永井 康雄 ◎山形大学工学部 建築・デザイン学科 教授:三辻 和弥 ◎山形大学工学部 建築・デザイン学科 助教:濱 定史 ◎株菊池技建 代表取締役:菊池 幸生 ◎章和ホーム(株) 代表取締役:川井 秀智 ■最優秀賞1点 ■優秀賞1点 ■佳作6点

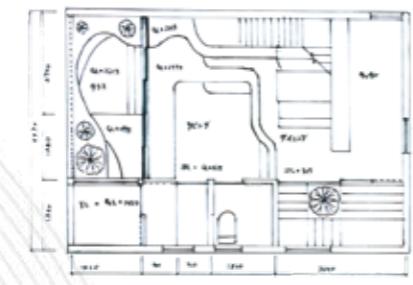
独自の視点で住むことの意義を考え夢を どんどん膨らませながら形にする。

最優秀賞



TANADA HOUSE

P9で採用

安部 豪人さん  
(建築・デザイン学科2年)

山形の自然風景と建設地の「あかねヶ丘」の名称から、夕映えの棚田をイメージ

山形の自然風景と建設地の「あかねヶ丘」の名称から、夕映えの棚田をイメージして設計しました。山形の環境や土地の特徴から、どうしたら楽しい生活が生まれるかを時間をかけて考えた結果なので、とても嬉しいですね。構造や法規制に配慮するとデザインが上手くいかなくなるなど、調整がとても難しかったです。今後は、さらに経験を積みながら、設計士や大学の先生を目指す考えです。

優秀賞

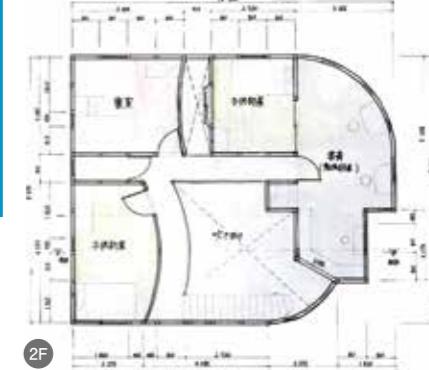


P12で採用

阿部 花織里さん  
(建築・デザイン学科2年)

広がりのこもれび

家と外部(地域)との関係を豊かにするために、住居内に植物などで彩られた小道をつくりました。家族と共に成長する空間です。また、リビングや和室などの連動性や採光などに配慮しながら開放感のある明るい暮らしを楽しめる家にしました。



なぜその空間が欲しいのかそこまで考えることが大切。

山形大学 工学部 建築・デザイン学科 教授 永井 康雄



提示された条件通りに図面にするのではなく、なぜ4LDKが欲しいのか、和室がほしい意味は何なのかを考えて形にすることを求めました。提出作品はそれぞれに独自の視点が活かされていましたし、地域と住宅のあり方について考えたことは大きな成果でした。「建築」とは、単にモノをつくるだけでなく、芸術性や社会性なども含まれてきます。それだけにつくることの意味まで考えながら携わることが大切です。住む人が豊かな暮らしを送るためにどうするか。そこには地域性もあるし、家族との関係性もあります。自分はその家に対してどういう責任が取れるのか、そういうことを見すえて設計できる人間になって欲しいですね。今回はそのようなことを知る機会になったと思います。

理想と現実を近づけながら実践力につける機会に。

株式会社 菊池技建 代表取締役 菊池 幸生



今回は、コンセプト、デザイン、間取り、機能性、プレゼンテーションをポイントに審査しました。私たちの固定観念を覆す作品が数多く提案され驚かされました。コストや法令まで考えると、受賞されなかった作品の方が実現性の高いプランが多かったようです。アイデアとのバランスの取り方はプロにとっても大きな課題なので、学生の皆さんはこのような機会を活かし、理想と現実をより近づけられる即戦力の人材に育ってほしいですね。私たちも今度のような機会と交流を通してサポートしていく一方、学生さんの柔軟な発想力と若い考え方などを吸収していきたいと思います。

得た情報から発想を広げていくそんな創造力を評価。

章和ホーム 株式会社 代表取締役 川井 秀智



プレゼンテーションが上手な人の背景には、深い調査・考察があるところから審査ではプレゼン力を中心に行いました。受賞作品にはテーマにそった夢や奥行き感が見られました。主旨をしっかり理解し、自ら調べて得た資料や情報から発想を膨らませて形にした結果ですね。今後はいろいろな部門を設けて賞を設定すると面白くなるのではと思いました。人材不足が叫ばれる建築業界ですが、これだけ建築に興味を持っている方がいるのはうれしいですね。さらに建築の良さ、山形の良さも知っていただき、山形で建築家になりたいという人が一人でも多く現われることを望んでいます。



## CUBE in KUBOTA

アリス チャン アイ ティンさん（建築・デザイン学科2年）



## 集まる家

廣瀬 和さん（建築・デザイン学科2年）



## 時とともに変化する家

内山 葵里さん（建築・デザイン学科2年）

大型犬と暮らす家  
—犬も人も毎日楽しく—

平野 汐莉さん（建築・デザイン学科2年）



## 匣

伊藤 綾香さん（建築・デザイン学科2年）

長門邸  
—光ダクトの優しい光—

佐々木 俊平さん（建築・デザイン学科2年）



HOUSING DESIGN CONTEST

# Other

住宅設計デザインコンテスト  
その他応募作品





参考モデルプラン:  
TANADA HOUSE × 2階5層の家  
Collaboration Plans 01

**3LDK+車庫+趣味室+ファミリースペース+サンデッキ+スタディコーナー**

3つのダン

暖…家全体が快適な温熱環境になる様な断熱性能。団…団欒、どこにいても家族の存在が感じとれる様な空間づくり。段…段差、あえて間仕切ではなく段差で、プライベートな線引きを意識づけ。学生プランで、空間のつながりや、高低差をつける内容をピックアップして、プランに落とし込んだ。



※バースは図面を基にしたイメージです。



参考モデルプラン:  
CUBE in KUBOTA × 展望の家  
Collaboration Plans 02

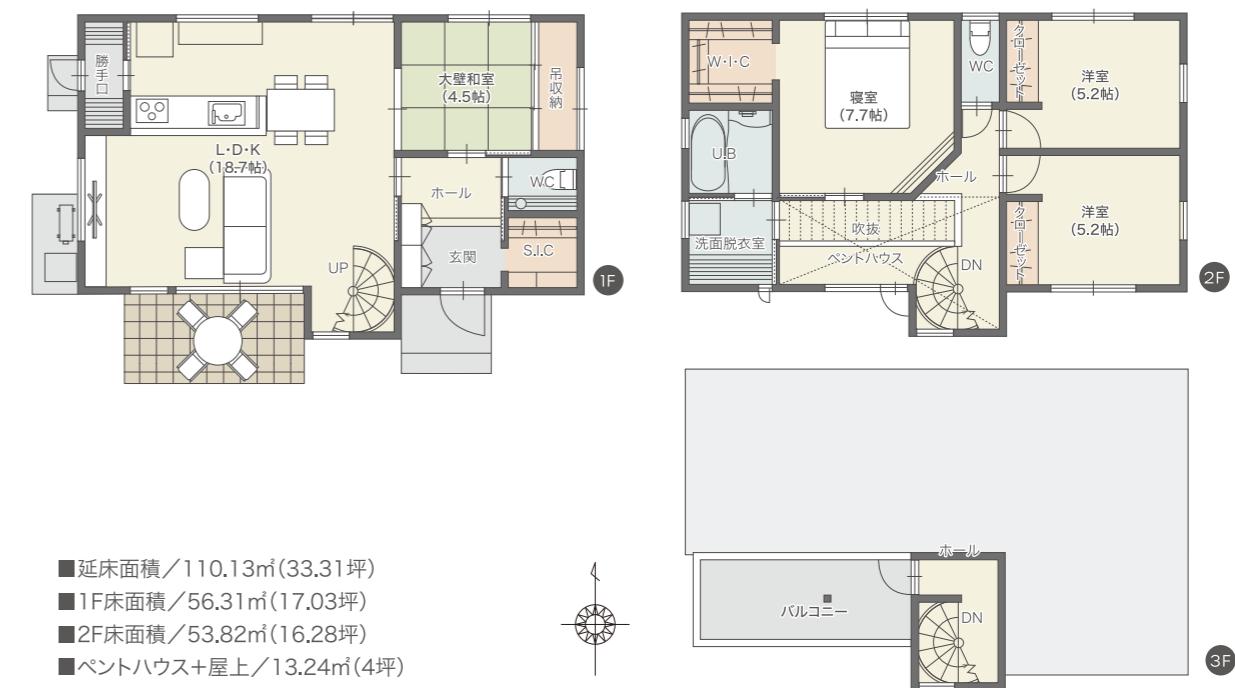
**4LDK+シューズクローケ+ウォークインクローゼット**

らせん階段と屋上テラスのある家

1Fをパブリック、2Fをプライベートゾーンに区別し、ムダを省いた動線。ペントハウスに天体観測できるスペースを設け、心のゆとりを養う空間を設計。心身共にリラックスのできる間取り。



※バースは図面を基にしたイメージです。





参考モデルプラン:  
CUBE in KUBOTA × 展望の家  
Collaboration Plans 03

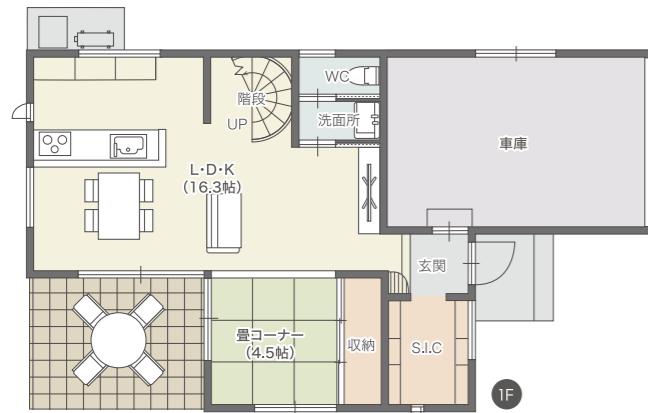
**4LDK+車庫+シューズクローケ+ファミリースペース+サンルーム**

ビルトインガレージのある家

1Fに畳コーナーとダイニングで外部テラスを囲み込みプライバシーガーデンを楽しむ空間づくり。  
2Fは水廻りを中心にプライバシーを確保した間取り。



※パースは図面を基にしたイメージです。



■延床面積／132.49m<sup>2</sup>(40.00坪) ■1F床面積／69.56m<sup>2</sup>(21.00坪) ■2F床面積／62.93m<sup>2</sup>(19.00坪)



参考モデルプラン:  
広がりのこもれび  
Collaboration Plans 04

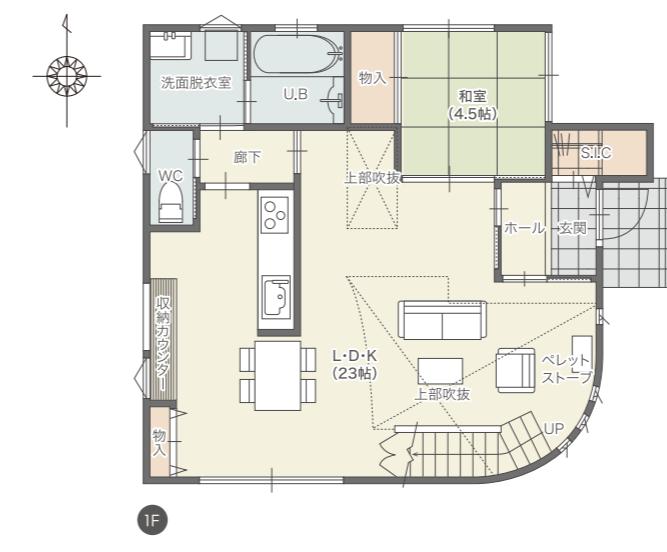
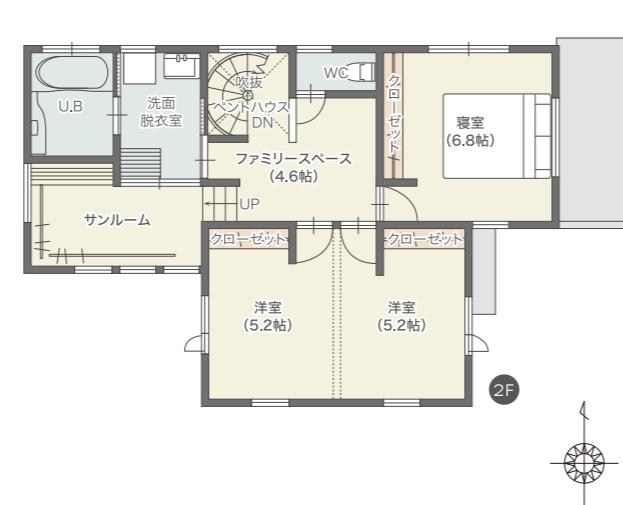
**4LDK+シューズクローケ+書斎+吹き抜け+リビング階段**

つながりのある家

家族同士の顔が見え気配を感じ合える開放的なLDK。2階とのつながりを感じる、リビング階段に面した大きな吹き抜けと書斎スペース。壁の曲線は家族に優しさやゆとりを与えてくれます。1階LDK中央に配置した「小道」は、家族みんなで手入れして育てた植物を置き、腰をかけて自然や会話を楽しみながら団らんができる空間。住まう家族同士の広がりとつながりを感じることができる家です。



※パースは図面を基にしたイメージです。



■延床面積／122.76m<sup>2</sup>(37.14坪) ■1F床面積／65.31m<sup>2</sup>(19.76坪) ■2F床面積／57.45m<sup>2</sup>(17.38坪)



参考モデルプラン:  
時とともに変化する家

## Collaboration Plans 05

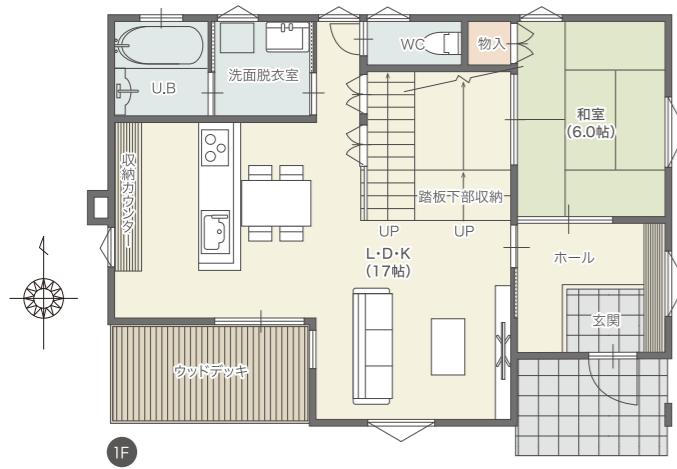
**4LDK +リビング階段+フリースペース+ウォークインクローゼット+ウッドデッキ**

### 家族とともに成長する家

家族みんなから見える階段は、本を読むベンチになったり、スタディコーナーや書斎として使ったり。家族同士のコミュニケーションが生まれる大きな階段が家の中心にあります。和室とのつながりを設け子供たちの遊び場としても大活躍。2階の各部屋はライフスタイルに合わせて可変できるつくり。子どもたちの幼少期→学童期→思春期→親たちの老後と家族の成長とともに変化する家です。



※パースは図面を基にしたイメージです。



■延床面積／129.52m<sup>2</sup>(39.18坪) ■1F床面積／63.11m<sup>2</sup>(19.09坪) ■2F床面積／66.41m<sup>2</sup>(20.09坪)



参考モデルプラン:  
土間のある家

## Collaboration Plans 06

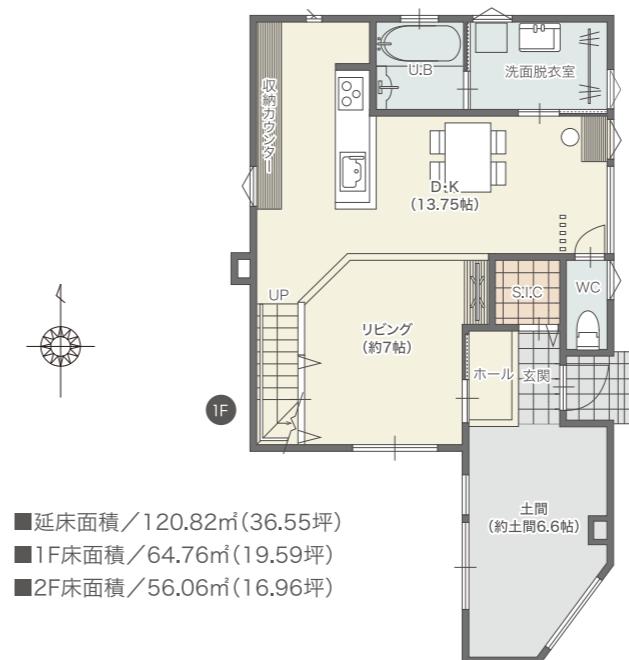
**3LDK +土間+シューズクローケーク+リビング階段+畳コーナー+ウォークインクローゼット**

### 土間で趣味を楽しむ家

土間は日本の民家建築で用いられてきた伝統的な空間です。プライベートとパブリックの程よい距離感を保ちながら過ごすこの場所は、ゲストスペースや趣味のスペースなど自由な発想で使うことができ、住まう人に様々な楽しみを与えてくれます。家族同士の顔が見える開放的なLDK。キッチンダイニングとリビング境目に段差をつけることで、室内空間により奥行感を与えてています。玄関とリビングの引き戸とリビングの窓を開放すれば、LDKと屋外の庭、土間が一体となり、さらに楽しみが広がる家です。



※パースは図面を基にしたイメージです。



■延床面積／120.82m<sup>2</sup>(36.55坪)  
■1F床面積／64.76m<sup>2</sup>(19.59坪)  
■2F床面積／56.06m<sup>2</sup>(16.96坪)